

# 大丈夫？GIGAスクール構想

小中学生に1人1台のタブレットを貸与して、高速大容量の通信ネットワーク環境を整えるGIGA(ギガ)スクール構想。早い整備をしてほしいと、期待する保護者の友人もいます。議会では次の内容が分かりました。

✓2月末にネットワーク完成予定。回田小と5中は推進校として先行して整備を進める

✓技術支援を担うGIGAスクールサポーターを4校に1名配置

→学年によってコンテンツも違います。タブレットの不調があってもサポーターが不在では対応できないかもしれません。この人数では全然足りません。

✓全教員に対してICT研修を実施し、教職員の中からGIGAスクールリーダーを育成

→行事準備・宿題の添削・授業準備など、ただでさえ残業が多く忙しい先生方は今、コロナの影響で子どものストレスケア、消毒など業務が増えています。そんな中、新たな研修が増えることになり、負担にならないかとても心配です。

✓WiFi環境のない家庭への対応について初年度の通信料は無料。次年度以降は有料化の可能性も。

✓タブレット端末はリース契約。5年契約でその間は保守あり。破損にも対応あり。ただし、契約満了後は未定。

✓ランニングコストは初期費用含めて初年度で11億円。2021年度以降のランニングコスト2億4000万円の見込み。来年度以降、一般財源を充当するかどうかは国都の動向による



GIGAスクール構想では、先生方と子ども達への負担にすごく不安を感じます。子どもの小さな変化に気付くためには、先生たちにゆとりが必要です。

さいたま市では休校中のデジタル授業について160校の先生が3日間で800本の動画を作成したといいます。こんなことは絶対にあってはなりません。

活用方法も、今後の計画についても詳細未定で不明点もたくさんあります。先生方との協議、子ども達の実情に合わせた丁寧な支援と追加の対応をお願いしたいです。

## たまほく（多摩北部医療センター）の医療サービスを守ろう

---- 独立法人化よりも医療体制の充実を ----



「たまほくを良くする会」の結成集会に参加しました。尾崎あや子都議、宮本徹衆議院議員も参加しました。

たまほくは、高齢者医療・がん医療・小児医療・救急医療などをおこない、地域の中核病院の役割を担い、開業医の支えにもなっています。

消防署も警察も、誰も「赤字」とはいいません。市民にとっていざという時に必要だからです。医療サービスも命を守る上で不可欠なのに、なぜ病院運営費を赤字と呼び民間に任せるのでしょうか。医療を採算性を優先すれば、儲からない部門は減らされてしまい、医療サービスは削られてしまいます。

「たまほくを良くする会」では多摩北部医療センターの充実を求める陳情への署名を集めています。

ご協力をお願いします。→



浅見みどりの活動を紹介しています。

**東村山民報**

2020年 7月号外

東村山民報社 ■ 東村山市美住町1-2-5 小松きょう子

しんぶん赤旗(月額3497円) しんぶん赤旗日曜版(月額930円)市民の声でつくるメディア。ぜひ購読ください。